

区立学校における ICT 推進に関する取組の進捗状況等について

令和5年度区立学校における ICT 推進にかかわる主な取組の進捗状況や成果と課題、今後の取組予定について、以下のとおり報告します。

1 教職員向け ICT 活用研修の実施

○令和5年度の取組状況

(1) ICT 推進リーダー連絡会

- ・各校1名のICT推進リーダーが集合し、年間を通じて連絡会を実施。(全10回)
- ・これらの内容は、自校の職員会議等を利用して教員間で共有。
- ・公開授業を小・中学校8校にて実施し、実践について協議をして自校でその内容を還元。
- ・実施した教科等は、国語科、算数科、理科、社会科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間。
- ・主な内容は、児童生徒が協働学習ソフトやプログラミング教材、プレゼンテーションソフトを活用した授業実践。

(2) 訪問要請型研修

- ・1月末時点で、計35回実施。
- ・主な内容は、ICTを活用した授業への指導や助言、授業や家庭での協働学習ソフトやデジタルドリルの効果的な活用。インターネットやSNSの利用における計画的な情報モラル教育の実施。

(3) 教員向け研修動画の配信

- ・1月末時点までに、計72本の動画を配信。
- ・主な内容は、特別支援教育、教育相談、若手教員育成、理科実験、体育実技。

○成果

- ・ICT推進リーダーによる授業公開を通して、教職員が1人1台専用タブレット端末等の効果的な活用について理解を深めることができた。
- ・学校からの要請に応じ、ICT活用に関する実技研修や授業視察を通じた指導・助言ができた。
- ・教員が学校にいながら研修ができる環境の構築を進めることができた。

○課題

- ・授業公開の内容や実施時期など、教員がより参加しやすい工夫をすること。
- ・各校のICT活用の実態を把握し、それに合った訪問型研修を実施すること。
- ・研修動画の視聴数を増やすために、研修サイトのレイアウトや周知の方法を工夫すること。

○今後の取組予定

- ・授業公開の実施時期や教職員への周知の方法等について検討する。
- ・指導主事が学校の実態に基づいた必要な研修を提案し、訪問型要請研修の充実を図るとともに、協働学習ソフトや学習者用デジタル教科書の活用等に関する集合型研修会を実施する。
- ・教職員が使いやすいように研修サイトのレイアウトを工夫するとともに、Microsoft Teams や校務パソコンを活用して周知を図る。

2 学習者用デジタル教科書実証事業の実施

○令和5年度の取組状況

- ・文部科学省「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」、東京都「デジタル教科書授業実践開発事業」、及び区教育課題研究指定校等の予算を活用して2校で実施。
- ・東京都デジタル教科書実践開発事業モデル校が区内の小・中学校へ授業を公開。

○成果

- ・授業視察や研修会を通して、学習者用デジタル教科書の効果的な活用方法を把握することができた。

○課題

- ・学校によっては、学習者用デジタル教科書の活用が進んでいない状況が見られること。

○今後の取組予定

- ・文部科学省「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書事業」実施したアンケート活用に関するアンケート結果や各校における学習者用デジタル教科書の活用状況を分析し、済美教育センターによる指導・助言に生かす。

3 新たなオンライン学習システム「MEXCBT」の活用

○令和5年度の取組状況

(1) 杉並区「意識・実態調査」の実施

- ・6月は20,253名、11月は24,095名の児童生徒に実施。
- ※6月については、小学校第1学年と中学校第1学年は未実施

(2) 全国学力・学習状況調査「話すこと調査」の実施

- ・4、5月に中学校第3学年の生徒1,816名に対して実施。

○成果

- ・調査の結果を学校が把握することで、児童生徒の実態を踏まえて授業改善につなげることができた。

○課題

- ・調査結果を効果的に活用する方法について、各校へ理解啓発を行うこと。

○今後の取組予定

- ・杉並区「意識・実態調査」については、令和6年度も引き続き3回実施し、変容等を把握しながら児童生徒理解に生かす。
- ・調査結果を効果的に活用している好事例を指導主事が中心となり収集し、指導助言に生かす。

4 仮想空間を活用した不登校児童生徒への支援に関する研究

○令和5年度の取組状況

- ・適応指導教室(以下、さざんかステップアップ教室)に利用登録している生徒を対象とする計画を立て、10月にさざんかステップアップ教室拠点教室の職員への説明会を実施。
- ・令和5年11月、さざんかステップアップ教室利用登録生徒及び保護者を対象に、説明会と体験会を複数回実施。
- ・説明会后、希望生徒を対象に順次試行を開始。(参加費は無料)
- ・指導主事やさざんかステップアップ教室職員等が仮想空間に常駐し、生徒の指導及び支援を実施。
- ・利用生徒に対して、VLP内で開催しているイベントの周知を実施。
- ・VLPの利用状況や効果的な活用方法等について、他自治体との定期的な情報交換。

○成果

- ・さざんかステップアップ教室へ登録したものの通室していない生徒が、家族や学校の教員以外の大人と、仮想空間での関わりをもつことにつながった。
- ・さざんかステップアップ教室への通室が不定期だった生徒が、仮想空間で担当者とコミュニケーションを重ねたことにより、通室につながった。

○課題

- ・利用者が増加した場合の効果的な支援方法を検討すること。
- ・VLPでの取り組みについて見通しをもつことができるよう、周知方法を工夫すること

○今後の取組予定

- ・令和6年3月、体験をした生徒を対象にアンケートを実施し、成果や課題等を分析する。
- ・東京都や他自治体と引き続き連携を図り、効果的な活用について検証を進める。